

平成 29 年度英語教員スキルアッププロジェクト

Let's Study English!

地区の英語教育担当者の指導力向上をねらいに、英語教育推進リーダーである宮元秀樹教諭(始良市立柁城小学校), 押川真紀教諭(瀬戸内町立阿木名中学校)を講師に迎え, 3日間で計14時間, 外国語活動, 外国語科の指導法改善の研修を行いました。

○対象：小学校外国語活動の担当教員・中学校英語科担当教諭

○期日：8月8日(火), 9日(水), 10月11日(水)

— 主にこんな研修をしました! —

- 子どもが英語を使う楽しさを感じる要素について
 - ・ インフォメーションギャップ, 根拠, 動機, 適度なレベル
 - ・ 他教科との関連を図った内容重視の学習(例: 場所を表す英語を学ぶ際, 体の臓器を使って学習させる。“Where is the stomach? It's next to the liver.”)
- クラスルームイングリッシュの効果的な活用法について
 - ・ 意味の理解を助けるようなジェスチャーの使い方
 - ・ 教室英語を使用する利点の認識の向上(記憶に残りやすい, 自信が付く など)
- ALTと円滑に授業案の打ち合わせをするためのスキルについて
 - ・ 提案を受け入れる, 変更する, 断るための表現(“That's nice idea, but…” など)
 - ・ 提案を断るときの理由の説明方法の実習
- 研修で学んだことを生かした, これからの授業づくり



文字の発音の仕方について学ぶ(小学校)



音と綴りの関係について学ぶ(中学校)

<学びの声>

- ・ 絵本そのものがコミュニケーションツールになることを学びました。表紙を生かして子どもの興味を引いたり, 基本となる英文をジェスチャークイズ形式で出したりするなど, 授業で生かしてみたいと感じました。
- ・ ALTと役割を明確にし, より効果的な働きかけの工夫が必要だと感じました。
- ・ 中学校でも, 小学校高学年の教科化に向けて, 新学習指導要領の目標や内容を理解し, それを踏まえた指導法について, 自校の教員と追究していきたいです。